

習俗の住処

1. 序

解釈と動作と生み出す建築



習俗＝しきたり，風習



理解

解釈

動作

日本では数多くのしきたりや風習が伝承されている。これらは「習俗」という言葉で総称されるが、昔ながらを生きた日本人は住宅建築とそれを構成する建築部位を、形状や位置に合わせて理解を行い、出産や災害などの人智を超えた事象に対抗するように解釈をすることで日常生活の中に様々な習俗という動作を生み出していた。

目 住宅建築における習俗と建築部位の関係の一端を明らかにし、それを展開・応用し建築を提案する

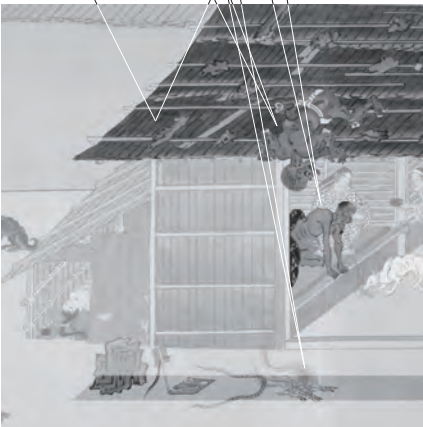
2. 住宅建築と習俗

2-1. 研究方法

日本と計画対象敷地における、建築と民俗、習俗に関する文献^{1)~9)}を対象に、該当記述の抽出を行い合計 88 の習俗事例を得る [1]。またその中 73 事例に関して神奈川大学常民研などのデジタルコレクションより習俗と建築部材の関係を読み解くことのできる絵巻物や風俗画などの画像資料を収集し情報の補足を行う [2]。これらの調査対象資料より、習俗が見られる場面、対象となる建築部位、資料に登場する人間や妖怪などの存在物とその動作の 4 つの事項を抽出し検討を行う [3]。

[1] 習俗と建築部位の関係が記載されている記述の抽出 88 事例
No. 20 文献名：住の民俗事典 著者名：森隆男 抽出箇所：p. 80 1.3-9

屋根にあがった疫鬼が軒から住いの中をのぞき込んでいる様子を描いた図が収められている。疫鬼の視線の先には土間に嘔吐する男が描かれているが、疫鬼は中に入ることができない。両者の間に、屋根と軒、そして雨垂れ落ちに並べられた焚き火や注連縄・女性の髪を挟んだ御幣などにより目に見えない結果が設けられているからである。



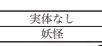
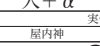
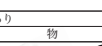
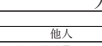
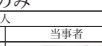
[2] 画像資料による情報の補足 73 事例

1) 森隆男：住の民俗事典、共編会、2019 2) 日本民俗学協会：『図説』民俗建築大事典、柏書房、2011。3) 宮本寛：『風俗の民俗学』、河内書房、2019 4) 相模市立博物館：相模の民俗、相模市立博物館、2002 5) 平出隆二：『東京風俗』上・下、ちくま学芸文庫、2000

2-2. 習俗に関わる場面の種類、建築部位、存在物と動作

場面
『ハレ・ケ・ケガレ・共同討議』を参考に、習俗が見られる場面を病気や葬儀などのケガレ、結婚や新築などのハレ、日常生活などのケの 3 項目に整理する

ケガレ	ハレ	ケ
病気 / 厄災 嘔吐 麻疹 コレラ... 葬儀 早死 喪死 病死... 出産 死産 月経 胎衣... 災害 火災 水害 風害...	結婚 結婚式 嫁入途中 デメシ... 新築 上様式 地鎮祭 棟梁送り... 節目 食い初め 七五三 成人... 生活 物乞い 料理 噂話... 商売 薬仕事 物売り 栽培...	

存在物				
調査対象資料中に登場した存在物を実体のない妖怪、実体のある屋内神と物、人の他人と当事者の 5 項目に整理する				
人 + α			人のみ	
実体なし	実体あり		人	
妖怪	屋内神	物	他人	当事者
				
夜鬼 ケツカイ オケツ ケムシ...	大黒神 ベロベロ神 荒神 カマシ...	二股大根 薬人形 御札 神棚...	新婦 死人 物乞い 様家 妊婦...	住人 参加者 親族 看病人 ...

動作

存在物が行う動作についてその方向に注目して、上昇、下降、水平、越界、設置、防壁の6項目に整理する

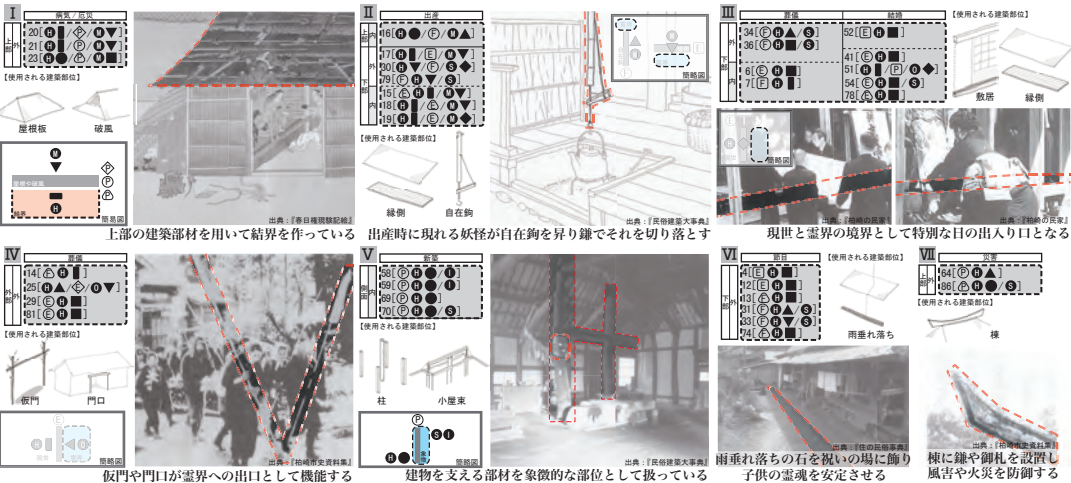
上昇	下降	水平	越界	設置	防壁
登る 潜む 逃げる... ▲	降りる 埋める... ▼	通る 滑る 踏む... ◆	飛び出る 跨ぐ... ■	置く 飾る 建てる... ●	囲う 遮る 掛ける... ■

2-3. 習俗の場面と建築部位の関係

2-2 の整理を用いて習俗と建築部位の関係についての分析を行う。方法として 1 つの習俗に対して抽出された建築部位、存在物、動作の事項を併記し 2-2 で得た場面と、2-5 で得た建築部位の位置関係によって分類を行う。
以上の分析より 7 つの類型を得た。I は病気 / 厄災の場面で、3 事例で妖怪が下部に越界することを上部の部材で防いでおり、建築部位の形状は立体、面状、線状の 3 つが見られた。II は出産の場面で、出産と同時に現れる妖怪が線状の要素である縁側に下降する習俗が 2 事例、線状の要素である自在鉤を伝って上昇する習俗が 5 事例見られた。III は葬儀や結婚の場面で当事者が線状の部材や要素を越界する習俗が 5 事例見られた。IV は新築の場面で線状の部材である柱に屋内神や注連縄などを設置して家内安全を祈願する習俗が 4 事例見られた。V は節日の場面で線状の外構である雨垂れ落ちから石を投げる、子供の供い場に飾る習俗が 3 事例見られた。VI は災害の場面で家の家徽となる部材である棟に鎌や御幣を飾り風雨や火災を防ぐ習俗が 2 事例見られた。

場面	建築部位	病気 / 厄災	ケガレ	ハレ	ケ
全面			I 		
上部		20 [病 / 嘔 / 葬] 21 [病 / 嘔 / 葬] 23 [病 / 嘔 / 葬]	26 [病 / 嘔 / 葬] 28 [病 / 嘔 / 葬] 29 [病 / 嘔 / 葬]	34 [病 / 嘔 / 葬] 36 [病 / 嘔 / 葬] 37 [病 / 嘔 / 葬]	66 [病 / 嘔 / 葬] 67 [病 / 嘔 / 葬] 68 [病 / 嘔 / 葬]
下部		35 [病 / 嘔 / 葬] 36 [病 / 嘔 / 葬] 37 [病 / 嘔 / 葬]	46 [病 / 嘔 / 葬] 47 [病 / 嘔 / 葬] 48 [病 / 嘔 / 葬]	52 [病 / 嘔 / 葬] 53 [病 / 嘔 / 葬] 54 [病 / 嘔 / 葬]	71 [病 / 嘔 / 葬] 72 [病 / 嘔 / 葬] 73 [病 / 嘔 / 葬]
側面		77 [病 / 嘔 / 葬] 78 [病 / 嘔 / 葬] 79 [病 / 嘔 / 葬]	80 [病 / 嘔 / 葬] 81 [病 / 嘔 / 葬] 82 [病 / 嘔 / 葬]	83 [病 / 嘔 / 葬] 84 [病 / 嘔 / 葬] 85 [病 / 嘔 / 葬]	86 [病 / 嘔 / 葬] 87 [病 / 嘔 / 葬] 88 [病 / 嘔 / 葬]
外部		22 [病 / 嘔 / 葬] 23 [病 / 嘔 / 葬] 24 [病 / 嘔 / 葬]	25 [病 / 嘔 / 葬] 26 [病 / 嘔 / 葬] 27 [病 / 嘔 / 葬]	28 [病 / 嘔 / 葬] 29 [病 / 嘔 / 葬] 30 [病 / 嘔 / 葬]	31 [病 / 嘔 / 葬] 32 [病 / 嘔 / 葬] 33 [病 / 嘔 / 葬]

2,3より得られた特徴的な7つの類型を以下にまとめる。



2-4. 類型の特徴と建築部位の位置

類型の特徴 2,3で得られた類型を比較検討し、12の特徴を見いだした。



3. 提案

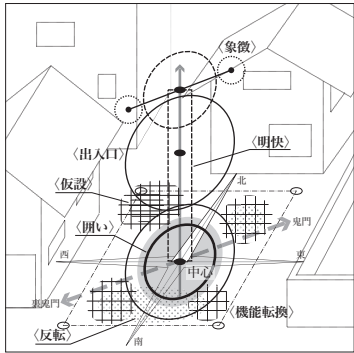
これまで得られた過去の習俗と建築部位の関係を引き継ぎそのまま使用、または読み解き、対象となる地域の特性や環境に合わせて展開・応用させることで、異なる性格を持った2つの地域、新潟県出雲崎町と東京都千代田市で建築を設計する。

3-1. 全体構成

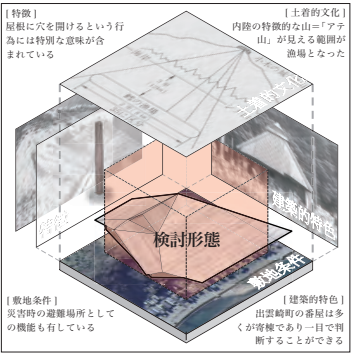
対象敷地内の井戸やシンボルツリー等の既存要素から建物の中心を決定、2-4の位置関係をもとに、立面や断面配置の検討を行う。

3-2. 形態

2-4で得た類型間の特徴と土着的文化、敷地条件、対象地域の建築的特徴の4項目を加味して形態を検討し、これを3-1に使い配置し建築を構成する。



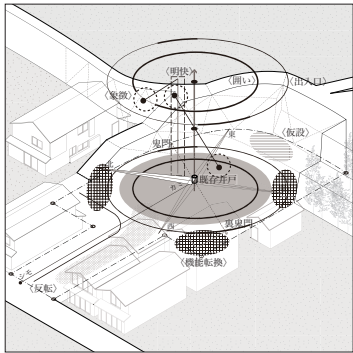
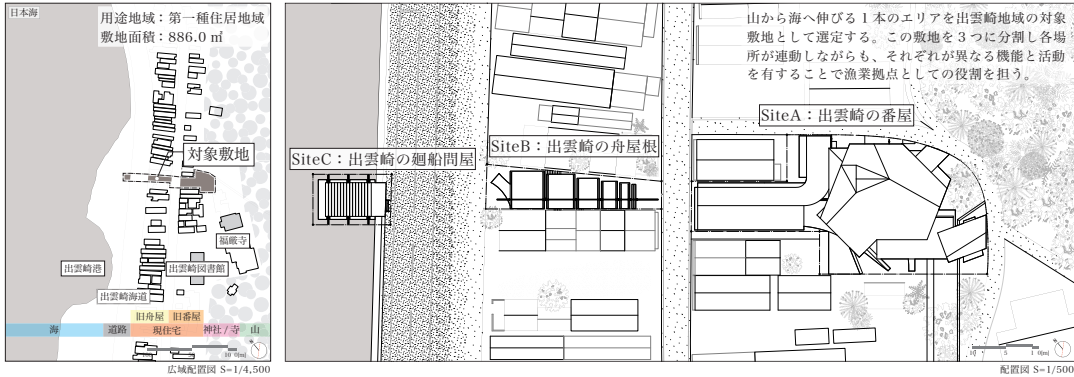
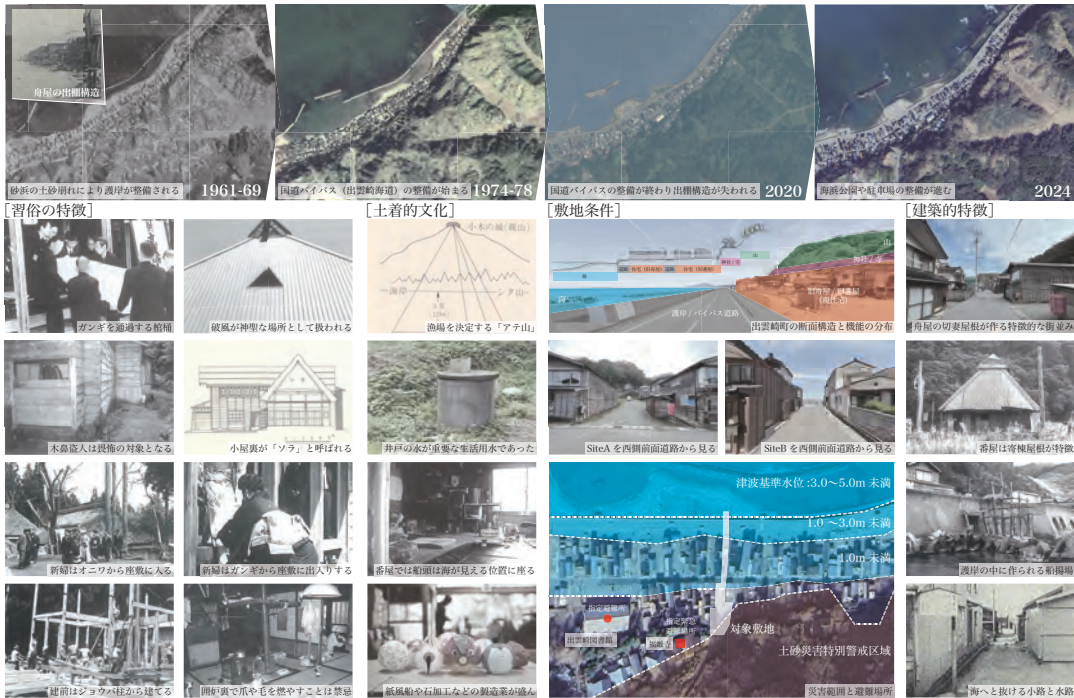
3-1 [全体構成検討図]



3-2 [形態検討図]

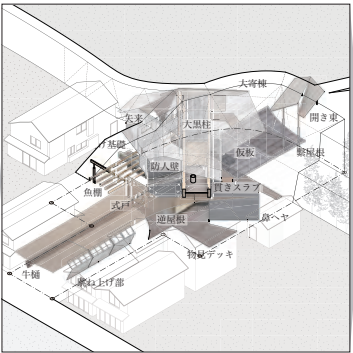
4. 設計

4-1. 対象敷地 1 新潟県出雲崎町 [出雲崎の漁業拠点]



SiteA: 出雲崎の番屋

[全体構成検討図]

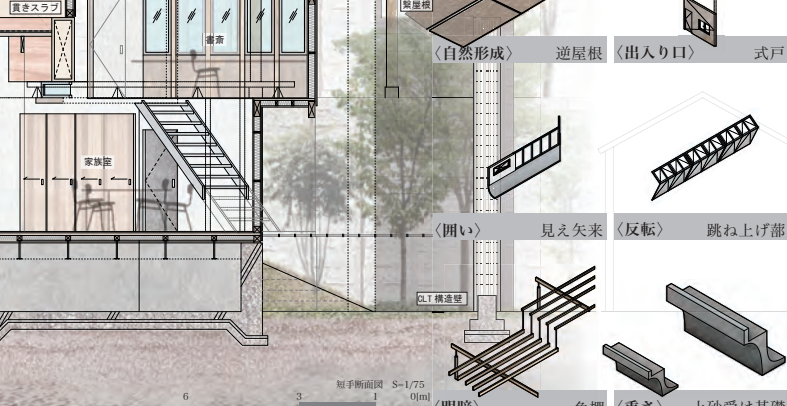
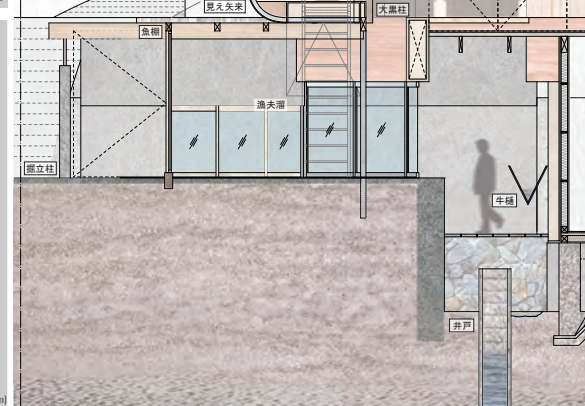
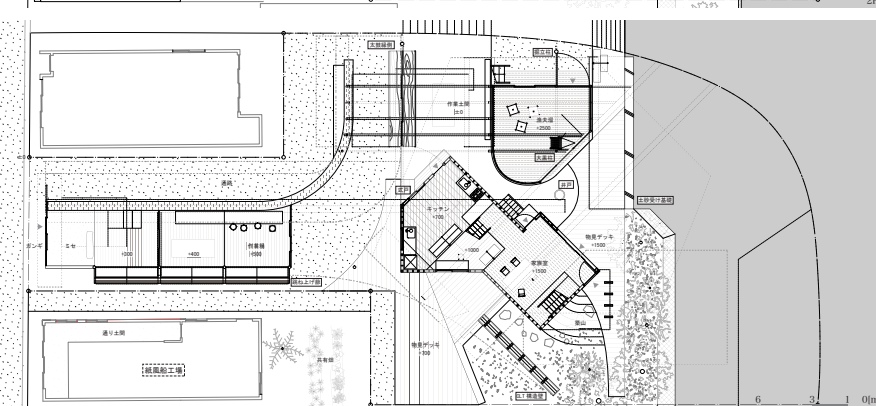
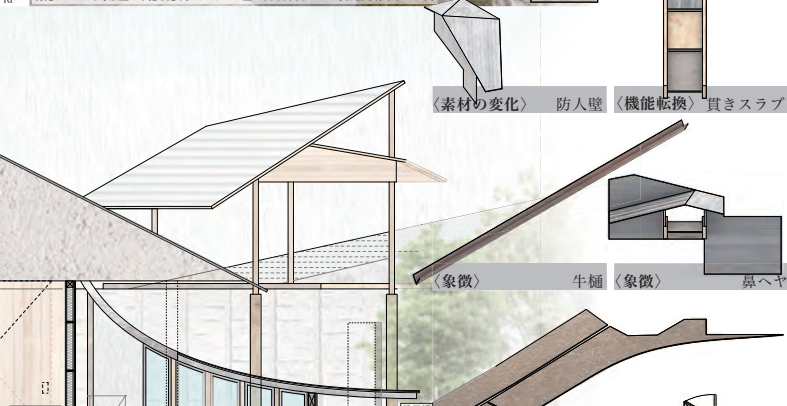
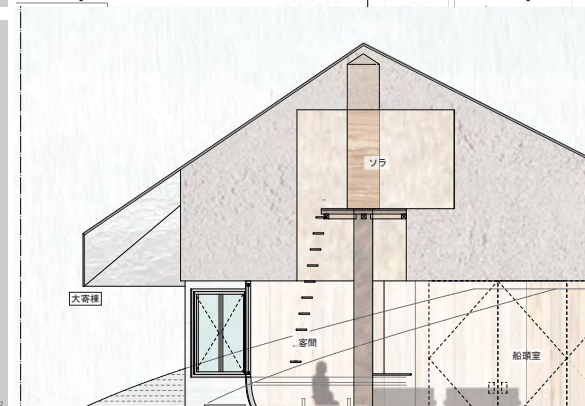
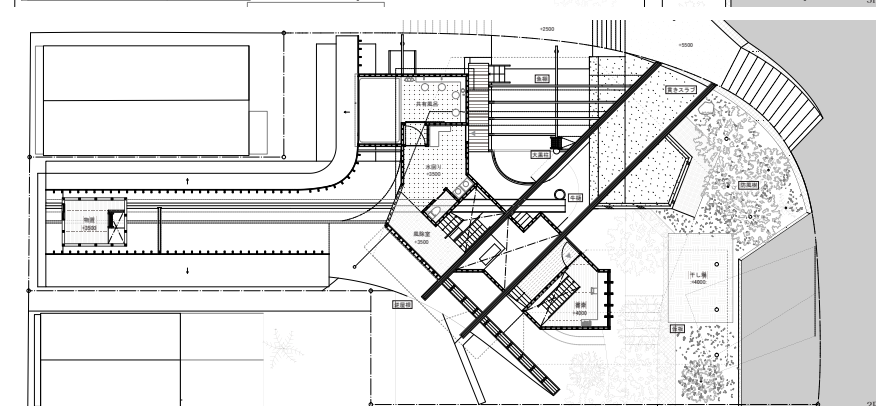
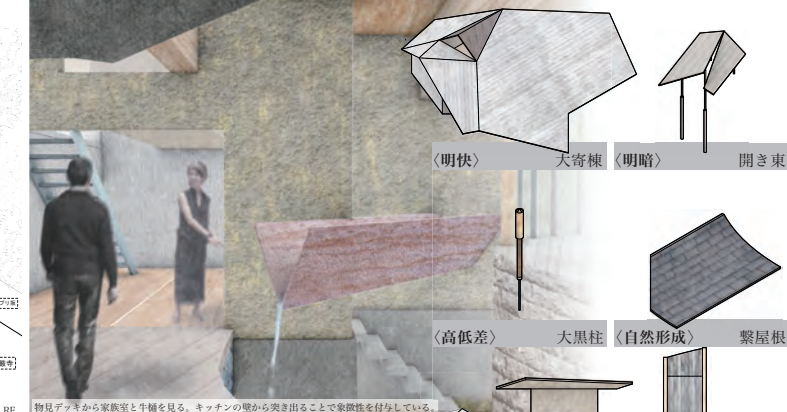
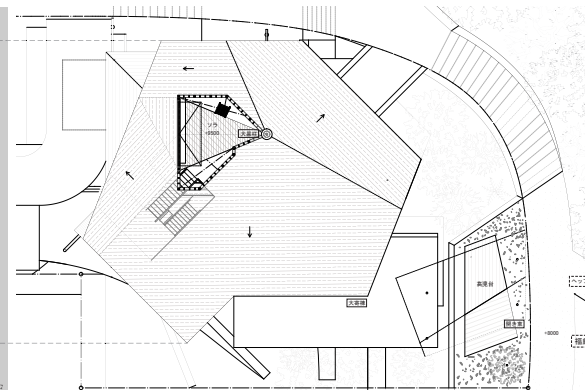
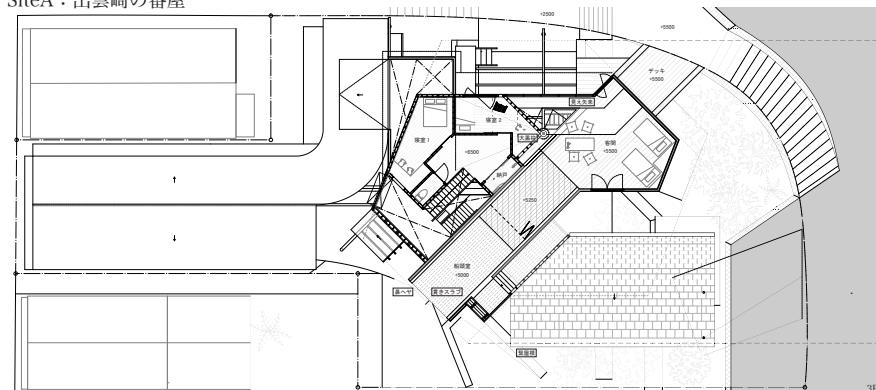


[形態検討図]

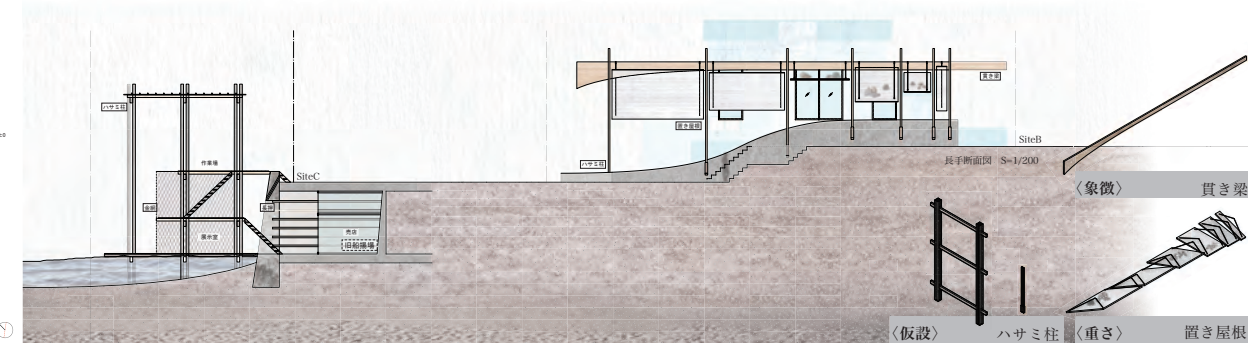
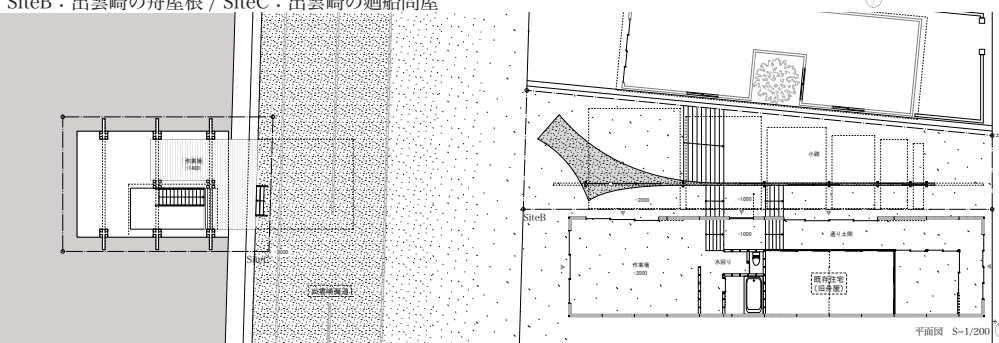


[全体アイディア図]

SiteA：出雲崎の番屋



SiteB：出雲崎の舟屋根 / SiteC：出雲崎の廻船問屋



4-2. 対象敷地 2 東京都千駄木 [千駄木の 2 世帯住宅]

